

W.C. Miller と S. Bowen の細心の努力によって完成された。そしてなお同一の星雲について1種類以上の写真をおよぼして、細かな構造がわかるようにしてある。

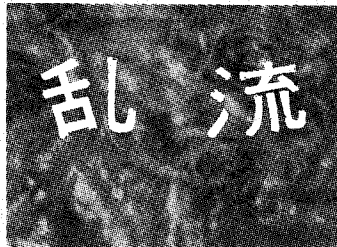
新しい分類の定徴は、楕円星雲 (E) と渦巻・棒渦巻

星雲 (S・SB) の中間型が重要視されていることであるが、その他シガレット状の星雲、棒渦巻星雲の中心核が明らかな渦巻構造をもっている数例の写真など、興味はつきることがない。

石田 蕙一

☆堂平観測所のこと初め 東京天文台の堂平観測所は昨年 11 月 1 日に開所式をあげたが、これにつづく 2 日の一般公開には、ふもとの村ではどこの家もからっぽになるといふ、村はじまって以来のことであったそうである。県道からのわかれ道には、杉の葉の立派な緑のアーチが立ち、そこから観測所までの、約 6 km の道は狭くて、自動車の交叉に不便なところから、時間をきめて一方交通にし、村の消防団員が交通整理に当たった。それで山上にたまった

車が、下りの時間になると一斉にダムのせきを切ったような壮観を呈した。



山上に泊った天文台員は、2日早晩1時というのにドアを叩く音に夢

を破られた。それはこの観測所の“観測初め”を見んものと、前夜から山上にキャンプした麓の村の青年団男女約 20 名の来訪であった。けれどもこの夜はまだ、メーカーによる望遠鏡の最終調整が完了していなかったため、観測は初まっていなかったのである。

☆人の動き 国土地理院々長の奥田豊三氏は、昨年 10 月勇退された。また本年 1 月から任期の初まる日本学術会議の新会員には、畑中武夫東大教授が当選された。

38 年版

理科年表

東京天文台編

気象庁、小穴純、赤松秀雄、永田武、上田弘之、渡辺武男、河角広、木内信蔵の諸博士が、それぞれ専門を分担監修された権威のある正確なデータブックで、毎年最新資料に基づいて更新される科学年表です。理工学各方面で日常必要とされる諸定数、諸知識は本書一冊の中に完全に集約されています。

▼ A6・866 ページ ¥ 430

— (M) 丸善

1963 年版

天文年鑑

¥ 200
〒 40



< 発売中 >

★7月21日の北海道の皆既日食、火星・木星の接近など1963年の観測の対象が豊富です—

★1963年版は紙質がよくなり、グラフページが12ページに増ページされました。表紙は新設の東京天文台堂平観測所のドームと91cm鏡です。

<主な内容> グラフ・月 ラエの日食 土星食 最近の彗星 北天の銀河 火星図

本文・1963年の毎月の天象 惑星と月の出没図 木星の衛星図 日食と月食 星食 太陽黒点 最近の月の研究 水星 金星 火星 木星 土星 天・海・冥王星 小惑星 彗星 主な流星群 隕石 長周期変光星の予報 主な惑星状星雲 主な銀河星雲 太陽系のニュース 恒星界のニュース 人工天体 1年間の天文書 天文の学会と同好会 天文界の1年間の動き 日本の日出没時と月出没時など

東京都千代田区神田錦町 誠文堂新光社
振替 東京 6294 番

昭和37年12月20日
印刷発行
定価50円(送料6円)
地方売価53円

編集兼発行人
印刷所
発行所

東京都三鷹市東京天文台内
東京都港区芝南佐久間町一ノ五三
東京都三鷹市東京天文台内

広瀬 秀雄
笠井出版印刷社
社団法人 日本天文学会
振替口座東京 13595